



[文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業]

山里海医学共育プロジェクト

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ『多地域共創型』医学教育拠点の構築

外部評価委員会（第1回）

報告書

日時：令和5年3月22日（水）19：30～20：50

場所：Web開催（Zoom）、岡山大学は現地会場あり

出席者：藤谷委員、清水委員、松下委員、菅野委員

列席者：豊岡医学部長、伊野教授、小川教授、香田准教授、田淵事務員

欠席者：矢野委員（後日オンデマンド出席）

○内容：

1. 外部評価委員会委員の紹介 ・・・【資料1】
各委員、列席者からの紹介があった。
2. 外部評価委員会内規の確認 ・・・【資料2】
香田准教授より、資料2に基づき説明があり、原案の通り議決した。
3. 外部評価委員会委員長の選出
豊岡医学部長より、松下委員に委員長の指名があり、審議の結果、議決した。
4. 文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業「多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ『多地域共創型』医学教育拠点の構築」取組状況及び今後の取組予定
 - 4-1. 全体概要説明 ・・・【資料3】
小川教授より、資料3に基づいて説明があった。
 - 4-2. 令和4年度事業報告 ・・・【資料4】
香田准教授より、資料4に基づいて説明があった。
 - 4-3. 令和5年度の取組予定 ・・・【資料4】
香田准教授より、資料4に基づいて説明があった。



〔文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業〕

山里海医学共育プロジェクト

5. 外部評価委員会委員からのコメント

各委員より以下のようなコメントがあり、今後の本事業で検討する方針とした。

- ・ 4大学の強みを活かしたプログラム構築について評価したい。地域枠の医学生を主な対象としたプログラムであるが、将来的にはすべての医学生に内容を浸透させることを目標としていってほしい。
- ・ 地域医療教育にかかわる教員のリソースが限られている課題については、オンライン教材や実習病院の医師に対する指導者養成講習会を充実化していくことで、リソースの蓄積と拡大を徐々に行うことで対応していく。
- ・ eポートフォリオの開発については、既存のLMSを活用しつつ、全国で進んでいるCC-EPOC開発の動向も追いながら、必要な機能について検討していく。教員の負担等の課題もあり、今後、課題を解決しながら継続して取り組んでいく。
- ・ ロールモデル発見や交流の場として、医学生や卒業生が集うリトリートの機会を作ることを検討する。高大連携で高校生との交流の機会を設けることも検討する。
- ・ 4大学共同で教育をすることと、単大学で行う教育とで、どこが異なり、どのようなメリットがあるか、言語化し、明確化し、共有することで、教育を受けている学生にもメリットが明確になるのではないかという提案があり、検討する。中長期的な教育のインパクトについて研究を含めた評価を検討していく。

6. その他

○次回は2024年3月を予定しており、詳細は追って連絡予定とした。

